

防災だより

第29号

小田急金森泉自治会 自主防災隊

2026年2月1日発行

災害時の住民による消火活動（スタンドパイプ使用）訓練報告

- **訓練概要** ⇨ 火災は冬に多いが訓練時期としては不適當か、訓練必須なので今後再考します。

日時場所 先月1月24日（土）10時～約1時間 13班消火栓 ⇨ みずき山へ放水

参加者数 約30名 寒い中のご参加本当にありがとうございました。

- **皆様に伝えたい大切なこと** ⇨ なぜ住民による消火活動が必要か？ そのためには？

▷ **平時の火災**では、お持ちの消火器（噴射時間10～15秒です）でダメなら、119番！

市内7ヶ所の消防署より、すぐに消防車が駆け付け**プロが対処**してくれます。

- ▷ **大地震時**では、広域同時多発・交通障害・人員体制等から、プロは来ません、来られません！

私たち住民が、消火・延焼防止・飛び火消火など、協力して対処しなければなりません。

何もしなければ火は止まらず、無風でも、風あればドンドン広がり自治会全焼、隣接地へも！

消火器でダメなとき、スタンドパイプを何台も使い、そのときにいる人々が対処しなければなら

ないため、「誰でも知って、出来る」必要があります。

- ▷ **スタンドパイプの能力・特徴・隣接地との協力**

能力から延焼防止が主目的です。消火栓は上水道で断水したら使えません。

隣接自治会へ火は行きますし、来てしまいます。消火活動も境界を越えて行う必要があります。

- **今回の訓練風景**

▼消火栓にスタンドパイプ立てホースつなぐ ▼ホース延長



▼放水はじめ！



使い方を忘れないため、的確に早く使えるため、誰でも知って出来るため、今後もスタンドパイプの訓練を行いますので、ご自分・家族・地域の方々の命と財産を守るため、是非ご参加をお願いします。